

公益財団法人 南砺幸せ未来基金

令和5年度 事業報告書

I 概要と主な成果

(公財)南砺幸せ未来基金設立以来、市域のコミュニティ財団の役割や機能を発揮し、地域の中間支援組織として南砺市内における地域課題解決能力を高めるため、地域課題の要因の洗い出しや実行団体・個人の活動に対して段階的なサポートを行っています。実行団体・個人の実情に合わせた支援を行うことが継続的な地域活動の支援をするために重要であると考えています。地域資源・精神風土を最大限活かし、南砺全体の持続可能な循環共生型社会の「南砺の未来資本」を創りあげ、次世代にバトンタッチしていくことを大切にしています。

助成事業の拡充および南砺幸せ未来基金（以下、財団）運営の基盤構築など、以下の5点を重点事項として位置づけ取り組みを進めた。

1 相談体制構築・支援事業実施

南砺市は人口減少、少子高齢化、若者の流出、世帯の小規模化・単身化などから、地域社会の支え合いの仕組みが脆弱化している。そのため、地域には複合化・複雑化した課題や事例が増加し、これまでの取組では解決が難しい現状である。

(1) 案件組成

助成事業の申請に関わる相談や、採択団体の活動伴走支援等を行うことでのべ299回の情報収集を行った。地域課題解決への事業化には資金的支援（助成事業の実施）のみならず非資金的支援（助言や紹介、組織体制強化や人材育成）の総合的な支援メニューが重要と認識し、以下の事業に結び付ける取組を行った。

(2) 助成プログラムの開発と運用

案件組成から明らかになった課題を解決するため、事業の掘り起こしを行いつつ資金的支援・非資金的支援で事業展開を応援し、地域と市民の自立性を高めることで地域の持続可能な社会の実現を目指すものとした。本年度より「未来を創るチャレンジ事業」、「R5市民活動応援事業」、「R5年度社会貢献事業化プログラム」を創設、実施した。

(3) 事業指定寄付プログラム（冠基金の運用）

特定の事業を行いたい団体への寄付の支援を行う事業指定寄付プログラム。令和5年度はこのプログラムへの応募はなかった。次年度以降も、本プログラムを利用した事業構築を目指す。令和4年度に第一交易株式会社からの寄付を元に表彰制度「第一交易株式会社西能スポーツ賞」の運用が始まり、南砺市全ての小学6年生を対象にスポーツを通じた健全な心身の育成に貢献した。今後も企業と当財団が連携する仕組みの構築を模索していく。

(4) 休眠預金活用事業

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（平成28年度法律第101号）」に基づき2009年1月1日以降の取引から10年以上その後の取引のない預金等（休眠預金等）を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度。

(2020年度と2021年度は(公財)東近江三方よし基金、(公財)うんなんコミュニティ財団と(公財)南砺幸せ未来基金がコンソーシアムを組み、休眠預金活用事業の指定活用団体である(一社)日本民間公益活動連携機構が公募した資金分配団体に採択された。)

1. 2020 年度休眠預金活用事業「ローカルな総働で孤立した人と地域をつなぐ」

2020 年度休眠預金活用事業「ローカルな総働で孤立した人と地域をつなぐ」で採択した 4 団体の伴走支援を実施。

実行団体名	社会福祉法人マーシ園	助成額/総事業費	8,400,000 円/9,628,600 円
事業名	引きこもりや精神障害があり孤立状態の人に社会参加の環境を創る		
中長期アウトカム	①自助グループが設立され、引きこもりや精神障害者が集う日中活動の場がある。 ②孤立者やその世帯が地域とつながり、誰もが安心して働き暮らせる地域や社会になる。		
非資金的支援	社会課題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・月 1 回の担当 P0 打合せ ・事後評価報告書の作成支援 ・活動内容を踏まえた計画変更に対する助言 ・引きこもり支援連携会議への出席、助言 	
	組織基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ・出口戦略として、引きこもりやグレーゾーンの方への支援を公的サービスにすべく南砺市役所に呼びかけ。 	
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者への繋ぎ 	

実行団体名	株式会社ガラパゴス	助成額/総事業費	8,080,000 円/11,080,000 円
事業名	桜ヶ池キャンプ場		
中長期アウトカム	事業終了後 3 年後に桜ヶ池周辺において地域コミュニティが構築され、障がい者施設の利用者やひきこもりの方など就職困難者が働く場を確保し、幅広い年齢層の方々の交流が活性化された地域や社会になる。		
非資金的支援	社会課題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・月 1 回の担当 P0 打合せ ・事後評価報告書の作成支援 ・活動内容を踏まえた計画変更に対する助言 	
	組織基盤強化	就労モデルの構築支援	
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者への繋ぎ ・マーシ園との連携モデル構築支援 	

実行団体名	なんとおせっ会移住応援団	助成額/総事業費	6,767,000 円/7,937,000 円
事業名	空き家対策・移住・定住促進事業		
中長期アウトカム	事業終了後 5 年後に南砺市内において空き家対策・移住・定住促進事業を行う事により、南砺市行政・不動産業者・空き家対策推進委員・地域づくり協議会等の各種団体の意識が高まり、地域の課題を自分事として捉えて、おせっかいをするネットワークが増えていく事で、安心・安全に暮らせる地域や社会になり、定住が増え、人口問題や少子化問題などに意識を向けた地域社会になる。		
非資金的支援	社会課題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・月 1～3 回の担当 P0 打合せ ・事後評価報告書の作成支援 ・活動内容を踏まえた計画変更に対する助言 	
	組織基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ・任意団体である該当団体の将来的な組織体制についての協議、要件整理 	
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者への繋ぎ・中間活動報告書の作成支援 ・出口戦略として空き家の賃貸借事業への助言の実施 	

実行団体名	テラまちコネクト	助成額/総事業費	6,796,500 円/7,996,500 円
事業名	お寺初！おかあさん目線の雇用創出事業		

中長期アウトカム	事業が終了してから5年以内には、おかあさんだけが子育てに関わるのではなく、地域のみんなが子育てに関わることができるようになっていく。瑞泉寺の売店を中心として地域のみんながつながる拠点があり、そこでおかあさんたちがいきいきと働いていたり、地域の中でおかあさんたちが新たな働き方（起業や就職）にチャレンジしている。	
非資金的支援	社会課題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・月1～3回の担当P0打合せ ・事後評価報告書の作成支援 ・活動内容を踏まえた計画変更に対する助言
	組織基盤強化	・任意団体である該当団体の将来的な組織体制についての協議、要件整理
	環境整備	・子育て支援のウェブサイト運営団体への繋ぎ

2. 2021年度休眠預金活用事業「社会的困難者を支えるローカルアクション」

2021年度休眠預金活用事業「社会的困難者を支えるローカルアクション」で採択した3団体の伴走支援を実施。

実行団体名	特定非営利活動法人 よってカフェ	助成額/総事業費	19,822,000円/25,167,400円
事業名	生きづらさを抱える人も幸せになれる地域の居場所づくり (受け入れあい、刺激しあう！安心して過ごせる第三の居場所)		
中長期アウトカム	事業終了後5年後に南砺市内において、みんなが安心して寄れる場所「よってカフェ」を常時開設できることにより、生きづらさを抱えている人が安心して社会とつながれる地域や社会になる。行政や関係機関と連携できることにより、生きづらさを抱えている人の情報が共有され、支援が必要な人に、必要な支援を届け、地域で見守ることができる地域や社会になる。		
非資金的支援	社会課題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度の担当P0打合せ ・事前評価ヒアリングによって直接受益者の解像度を高める支援 	
	組織基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ・会計支援 ・ガバナンスコンプライアンス体制構築支援 	
	環境整備	・関係者ヒアリング	

実行団体名	農事組合法人 大鋸屋営農組合	助成額/総事業費	14,570,400円/18,213,000円
事業名	中山間地の地域コミュニティを維持し、誰もが安心して暮らせる地域共生社会を目指す。 (集落の環境や農地と生活を守るため、集落営農組織の活性化と共に、次世代を担う後継者人材を育成する)		
中長期アウトカム	農作業が困難となり後継者のいない高齢者の農地を経営改善した集落営農組織に安心して引き継ぎ、その下で、意欲のある若手の参入者が希望を持って営農や環境保全を行う。また、営農組織は、住民自治組織と一体となり生活を支える活動を行い、幸せに暮らすことの出来る地域共生社会を実現している。		
非資金的支援	社会課題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度の担当P0打合せ ・事前評価ヒアリングによって直接受益者の解像度を高める支援 	
	組織基盤強化	・会計支援	
	環境整備	・若手農業者育成塾の開校支援	

実行団体名	一般社団法人 福野アソシエイツ	助成額/総事業費	13,000,000円/15,000,000円
事業名	福野まちなかりノベーション事業（子育て世代が安心して働けるコミュニティ創造）		
中長期アウトカム	子育て世帯の人たちが互いに支えながら、子育てを行うコミュニティが形成され、その中で育つ子供たちは、生活習慣、健康管理も安定し、自己肯定感をしっかりと持てる子に育つ。それらが、子ども達が学ぶ意欲と将来への希望につながり、格差なく活き活きと過ごせるようになる。ひとり親の世帯の子どももそうでない子供も同じ子育てのコミュニティの中で育		

	つことにより、親も子も社会から取り残されることのない地域となる。	
非資金的 支援	社会課題 解決	・ニーズ把握ヒアリングへの支援 ・事業計画のブラッシュアップ支援
	組織基盤 強化	・人員配置へのアドバイス
	環境整備	・関係者ヒアリング ・関係者へつなぐ

3. 2022年度休眠預金活用事業「社会的困難者が役割と希望を再生するコミュニティ活動」

2022年度は2年間の事業展開で得た知見を北陸の地に展開するため、七尾未来基金設立準備会とコンソーシアムを組み資金分配団体として採択された。実行団体が社会的困難者を発見し手を結び、信頼関係のもと役割を生み出し、地域住民や関係者に繋ぐことで、希望や居場所の再生を図る事業である。七尾市の資金分配団体と共に事業を遂行し北陸から新たな知見を創出する。

実行団体名	株式会社ツチカラ	助成額/総事業費	20,000,000円/ 21,938,901円
事業名	「地域のつながりと資源の循環」を新規就農者が生み出す事業（新規就農者の営農支援と健康に暮らせる地域をつくる事業）		
中長期 アウトカム	事業終了5年後には、廃棄される様々な有機物から堆肥（有機肥料）を製造。堆肥を中心に様々な人々がつながり、共有するヴィジョンを持ったコミュニティが生まれる。事業終了後10年後には販売には新規就農者が安心して営農継続できる環境が整い、地域に根差した農業者に成長する。コミュニティの拡がりとともに南砺市の新規就農者は増えていき、後継者がおらず希望を失いつつあった地域の高齢農業者が、先祖代々守り繋いできた土地を未来ある若者に継承していく。高齢化と過疎が深刻になっていた農村は次第に活気づき、南砺市の財産でもある美しい農村風景は守られ、だれもが健康に暮らせる持続可能な社会が創出する。		
非資金的 支援	社会課題 解決	・ニーズ把握ヒアリングへの支援 ・事業計画のブラッシュアップ支援	
	組織基盤 強化	・人員配置へのアドバイス	
	環境整備	・関係者ヒアリング ・関係者へつなぐ	

○休眠預金等活用事業の助成には、プログラムオフィサーが伴走支援を行う。当財団のプログラムオフィサーは南眞司（2020年度2団体、2021年度1団体、2022年度1団体）、能登貴史（2020年度2団体）、吉野玄暉（2021年度2団体、2022年度1団体）、山道修平（2021年度1団体）が担当し、事業終了まで伴走支援を実施する。

2 情報発信・普及啓発

財団の設立趣旨や運用目的などを広く啓発を行うことで、市民の理解や参加を促す。

(1) 寄付者への訪問による財団運営の説明

個人や団体、企業等からの寄付を頂き財団運営を行っている。寄付者の方々に財団運営の説明とまちづくりのご意見を頂くと共に継続的な協力を依頼している。しかし財団スタッフが手薄なため取組みは不十分であり充実に努める必要がある。

(2) 地域づくり協議会・まちづくり団体への説明

地域づくり協議会の取組発表会や毎月の事務局 ZOOM 会議などで説明する機会を頂き財団の運営や助成事業の説明を行うことができた。南砺市で活動するまちづくり団体に財団の周知は不十分であり、引き続き効果的な発信と連携が求められる。

(3) ホームページや SNS による情報発信

財団の運営や助成事業、各種取り組み等をホームページや各種 SNS（Facebook・Twitter・Instagram）等に適宜アップして公開している。

(4) ニュースレター・アニュアルレポートの発行

会報、アニュアルレポート、休眠預金事業インパクトレポートを発行し、寄付者や関係者に送付した。財団運営状況等を小冊子にまとめたアニュアルレポートは寄付者や関係者に説明する大切なツールである。

(5) 活動報告会

助成実行団体による活動報告会（7月29日）を井口椿館で開催。第4回頑張る人・地域応援事業にて採択された3団体、2020年度休眠預金等活用事業にて採択された4団体が事業終了の活動報告を行った。

3 調査・研究

多くの地域課題や社会課題がある南砺市において、市民が支え合い地域の持続可能性を高める循環共生型社会づくりには、市民自らが支える仕組みを構築する新たな取り組みの創設が必要である。

本年度は、課題の深堀を行うために、テーマを決めて訪問による地域課題の収集を実施し、地域課題の洗い出しと要因分析を行った。

(1) 防災

本年7月に、砺地域において豪雨による土砂災害が発生した。それを契機に南砺市内の各地域の防災に関する現状確認のためのヒアリングを実施した。

(2) 農業

2022年度休眠預金等活用事業における採択団体の事業伴走の一環として、南砺市における新規就農者の現状と課題を把握するためにアンケートと関係者へのヒアリングを実施した。

4 志金調達

安定した財団運営を行うための運用資金となる寄付金や遺贈金を受けるための仕組み（サポーター会員制度）を構築と運用、周知・啓発を図った。まだ財団として遺贈寄付の実績はないが、多くの機会に周知に努め、遺贈を通し社会貢献したいとの思いを受け止める体制の整備に努める。

5 組織基盤強化

多くの課題を有する南砺市において循環共生型社会の構築には、これまで記載した重点事項の取り組みと共に財団の組織基盤の強化が必要である。

(1) 組織経営・財務運用

財団組織に関し、各種会議（業務執行理事会や部会）を見直し、組織体制を評議委員会、理事会と運営委員会・コンプライアンス委員会・事務局とした。財務運用に関して、休眠預金活用事業管理費や各種寄付及び行政からの委託事業等で賄えているが、引き続き財務基盤の強化に取り組む必要がある。

(2)プログラムオフィサーの育成・雇用

循環共生型社会づくりを担う団体の支援には、人材育成やネットワーク作り及び組織基盤の強化など非資金的支援が重要である。休眠預金等活用事業で活動するプログラムオフィサーの確保と育成を行っている。休眠預金活用事業の実践や研修プログラムの受講、「東近江・雲南・南砺ローカルコミュニティファンド連合」における採択実行団体への視察等の学び合いを通して、知見を共有しプログラムオフィサーとしての育成につなげている。

(3)資金管理、支援事業、組織体制の確実な運用

財団事務局の事務事業を細分化し業務分担すると共に、毎週の事務局会議で情報共有と的確な財団運営につなげている。今年度、コンプライアンス委員会で財団のガバナンス・コンプライアンスをチェックし、定期的な研修で透明性の高い組織運営に努めている。昨年度に引き続き、一般社団法人全国コミュニティ財団協会との交流および研修会に参加し、コミュニティ財団として知識や他団体とのつながりの構築に努めている。また、管理体制強化のために、クラウドシステム「セールスフォース」を導入し、ステークホルダー・助成事業・寄付・相談記録等のデータの一元化を行った。

(4)なんと未来支援センターとの連携

南砺市から中間支援組織と認定され、なんと未来支援センターと共に連携してまちづくりを支援する体制が整った。南砺市の未来を創造する人材、地域や社会課題を解決する個人や団体及び小規模多機能自治活動などをワンストップで支援する。今後なんと未来支援センターが非資金的支援を、財団が資金的支援を中心に協力し行い、より効果的な支援や連携のあり方を模索する。

II 運営に関する実績

1. 寄付金の状況

一般寄付	7件	336,100円
サポーター会員/個人年会費	10件	180,000円
サポーター会員/法人年会費	3件	220,000円
冠基金	1件	700,000円
	総額	1,436,100円

2. 会議状況

(1) 理事会

会議名	日時	内容
第1回理事会	5月26日	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告 令和4年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録 理事の改選 評議員会の開催及び目的事項の決定 2022年度休眠預金事業採択団体の承認 2022年度休眠預金事業再募集
第2回理事会	11月27日	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動応援事業採択団体の承認 2022年度休眠預金事業（再募集）の結果 規程類の変更 役員変更（業務執行理事の解任と選任、専務理事の選定）
第3回理事会	3月25日	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度事業計画（案）承認 令和6年度収支予算（案）承認 社会貢献事業化プログラム採択結果承認 財団設立5周年イベント

(2) 評議員会

会議名	日時	内容
定時評議員会	6月13日	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告 令和4年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録に 役員改選（理事の選任） 令和5年度事業計画の報告 令和5年度予算書の報告

(3) 業務執行理事会

会議名	日時	内容
第1回業務執行理事会	9月25日	<ul style="list-style-type: none"> 富山県の立入検査結果報告 財団の運営体制について コンプライアンス委員会からの報告
第2回業務執行理事会	11月27日	<ul style="list-style-type: none"> 休眠預金事業採択団体に関するコンプライアンス報告

(4) 運営委員会（新設）

会議名	日時	内容
第1回運営委員会	1月24日	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度事業計画および予算 役員改正案（任期満了）

(5) 業務執行会（新設）

会議名	日時	内容
第1回業務執行会	2月29日	・事務局スタッフ給与の検討 ・事務スタッフ（会計担当）採用 ・財団設立5周年イベント ・新役員案についての検討

(6) コンプライアンス委員会

会議名	日時	内容
第1回コンプライアンス委員会	9月11日	・R5年度コンプライアンス運営計画 ・財団の法令順守体制の現状と課題 ・コンプライアンス体制構築ための具体策
第2回コンプライアンス委員会	3月11日	・R5年度の実施状況 ・実施状況に対する評価 ・来年度の計画

(7) 監査の実施

令和6年5月14日、監事（2名）が令和5年度の監査を実施し監査報告書を作成した。

3. 寄付者名簿作成

令和4年度に引き続き、令和5年度の寄付者の名簿を整備した。

4. 受託事業

南砺市より以下の事業目的の業務委託を受託している。

(1) 地域伴走支援体制強化事業

契約額 4,730,000円

期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日

内容：市内の課題解決能力を高め、地域課題の要因の洗い出しや段階を踏んだサポート、資金調達のアドバイス等、事業化への支援が行える人材を育成し、継続的な地域活動への支援を行うもの。

地域課題の収集・整理、事業化支援（案件発掘）、地域課題の分析、助成プログラム開発、伴走支援（事業実施支援・組織体制の基盤強化）、事務局業務

(2) まちかどトーク（外国人）運營業務委託事業

契約額 99,000円

期間 令和5年4月1日から令和5年8月31日

内容：対話による協働のまちづくりを進めるためになんと未来ミーティング（外国人コース）開催の運営支援業務委託を行うもの。なお運営にあたっては南砺市友好交流協会等外国人支援を実施している諸団体と連携し業務を実施し、現状の仕事や

生活に関する困り事や悩みなど、現状（課題やニーズ）の把握が、本事業における大きな目的である。今回は「教育」にテーマを絞り、南砺市内在住外国人支援への施策へ活かす。

5. 他機関等の連携

特に、以下の団体と連携し事業を実施した。

- ・南砺市
事業の受託、事務局業務
- ・（一社）なんと未来支援センター
地域課題解決に向けた情報共有と連携、相互の会議への出席
- ・公益財団法人東近江三方よし基金、公益財団法人うんなんコミュニティ財団
休眠預金事業資金分配団体としてコンソーシアムを構成、各種知見の共有を図る
- ・七尾未来基金設立準備会
休眠預金事業（2022年度枠）の資金分配団体としてコンソーシアムを構成
- ・一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）
休眠預金事業の指定活用団体、各種研修会なども実施
- ・（一社）全国コミュニティ財団協会
コミュニティ財団の全国組織。各種研修の開催や情報提供
- ・（一社）全国レガシーギフト協会
遺贈に関する連携